



か み や ま

学校教育目標

ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと上山の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyama/>



～ 優しさと、勇気！ ～

校長 佐藤 康晴

先日、5月の爽やかな風を受けながら、6年生と一緒に、横浜市歴史博物館と大塚・歳勝土遺跡の見学に行ってきました。学校に集合して、中山駅まで歩き、市営地下鉄に乗車してセンター北駅までの小旅行のようでした。地下鉄車内の出来事です。中山駅を出発して、途中駅から少しずつ乗車して来る方々が増えだした頃、上山小の子どもたちは、乗車して来る方に、いつ声をかけて席を譲ろうか気にし始めました。声をかけようとタイミングを計っていたところ、その方がずっと通り過ぎてしまわれたりし、中々うまくいきません。そうこうしていると、又電車は動き出し、車内は落ち着いてゆきます。次の駅で、又乗車してきた方がおり、席を譲ろうと何人もの子どもたちが気にし始めた時、少し後ろの離れた席に座っていた子が、席を立てて一生懸命に声をかけその思いを伝えることが出来ました。その方はその子に会釈をし、席に腰をおろしました。そして私を見て、小さくお辞儀をしてくださいました。私は、僅かの乗車時間ですが、この時、多くの子どもたちの優しさと、勇気にふれることができました。心が温かくなり、嬉しく、清々しい気持ちになりました。6年生の皆さん！ありがとう。きっと、どの学年の上山っ子も、上級生の背を見て、この優しさと勇気を育んでいるのだ、と思いました。

子どもたちが昼食をとっている大塚・歳勝土遺跡公園に、雲一つない青空の青さと競うように咲き誇る白い花びらが印象的な樹がありました。花びらの様に見える白い4枚の総苞をちゃんと葉の上のせている「山法師」です。その姿は、常にくっきりと、凛々しく美しく「私はここにいますよ」と教えてくれているようです。

「山法師」はミズキ科の樹木で、日本原種だそうです。野山に育成し、その美しく素朴な姿から、ご家庭で育てている方も多いとのこと。また固い材質で、昔から農具の柄などに重宝されていたそうです。花言葉は「友情」、一見花びらのように見えるものが総苞で、中央に集まる小さな頭状のものが花です。この花が、秋になると団結して一つの実になる様子から、花言葉「友情」が付けられたとの話もあるそうです。ちなみに、よく似た樹木に、「ハナミズキ」がありますが、ハナミズキは外国種で、別名「アメリカヤマボウシ」と言われ、明治45年に、日本からアメリカワシントンに桜を贈った時のお返しとして日本に来たそうです。「ハナミズキ」の花言葉は、「返礼」、その気持ちが込められている気がしました。

6年生と一緒に、横浜市歴史博物館と大塚・歳勝土遺跡の見学に行き、「山法師」の様な美しく素朴な姿と優しさ、強さ、しなやかさ、そして勇気を感じた一日になりました。6年生の姿を通して、6年生に続く下級生の姿にも思いを馳せることができました。